



リシュモアニュース

臨時夏休み号

楽しい夏休み！熱中症には充分気を付けて、暑い夏を乗り切りましょう！

さて、リシュモア開校以来、毎年夏に開催してきた発表会ですが、今年では会場抽選にことごとく落選し、開催そのものが難しくなっていました。下記のとおり、12月に弾き合い会を行うことで発表会に替えさせて頂きたいと思っております。ご理解頂きますようお願い致します。

下半期は、イベントが盛りだくさん！とくに**秋の特別リシュモアレッスン**は、**指揮者と弦楽四重奏メンバー**を招いて、皆さんに**指揮者体験**して頂くという、**大変貴重なレッスン**です♪**生徒の皆様が誰一人として欠けることなくご参加頂きたく**、ひとあし早くお知らせします。まだリシュモアに来られたことのないお友達がいらっしゃったら、是非ともお声掛けしてください♪（お友達は見学のみとなり、指揮者体験はできません。また、予約が必要です）



発表会について

11月開催までを目指して会場抽選にチャレンジしたものの、結果は落選でした。大変残念ですが、今年の発表会は断念し、代わりとして12月リシュモアレッスンに弾き合い会を行いたいと思っております。来年度からはコース別の開催も視野に入れ、また夏の開催を目指します。保護者の皆様にもご理解頂きますようよろしくお願い致します。



秋の特別リシュモアレッスン～指揮者入門～

今からスケジュールおさえてね♪

指揮者・ピアニストとして幅広い活躍をされている**内藤晃先生**と、弦楽四重奏のメンバー（ヴァイオリン：高橋渚先生、北見春菜先生、ヴィオラ：對馬時男先生、チェロ：印田陽介先生）をお招きして指揮者入門講座を行います。「指揮者は何をやっているの？」「指揮を変えると演奏はどうなるの？」皆さんの疑問にお答えしながら指揮者の役割や指揮の方法をわかりやすく解説し、クラシックの名曲で実演します。なんと今回は、皆さんにも実際に指揮者になっていただき、プロの弦楽四重奏の指揮をして頂きます！

📅 日程：2018年10月6日（土）、10月27日（土）各日程とも2回ずつ開催します！

時間などの詳細は決まり次第ご案内いたします



ピアノ振替レッスン可能になりました！

多くの習い事を掛け持ちしている生徒さん、受験勉強や部活、ピアノを両立させようと頑張っている生徒さん、お一人お一人が、様々な状況の中でもリシュモアに通って頂いておりますこと、大変嬉しく思っています。

楽器演奏は、とにかく“続ける”ことが大切！「生涯音楽を楽しんでほしい」と願うリシュモア音楽教室として、何かできることはないかと考え、まずはピアノだけなのですが、**振替レッスン専任講師**による振替レッスンが可能になりました。（日曜レッスンも対応！）追加料金もかかりませんので、どうぞお気軽にご利用ください。

※ご利用時は普段の担当講師にお伝えください。振替レッスンのための体験レッスンは致しかねます。

～裏面もご覧ください♪～



新しいヴァイオリン講師のご紹介！



須藤みさ央先生です。2児のママ。とても気さくで話しやすく、ホッとさせてくださるようなお人柄です。桐朋女子高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。演奏技術、音楽性も素晴らしく、皆さんを安心してお任せできる先生をお迎えすることができて大変嬉しく思っています。8月から木曜開講です！

【先生より皆さんへ】ヴァイオリンを弾くことに常によろこびを感じられるよう生徒一人一人ときちんと向き合いながら、レッスンを進めていきます。また、

心や身体に負担をかけないような、なるべく自然体でいられる演奏方法を一緒に探していきます。ヴァイオリンという楽器を通して、自分を豊かに表現するお手伝いがしたいと思っています。一緒に美しい音色を奏でましょう！※木曜開講しました！ご興味のある方は、ぜひ無料体験レッスンをお申込みください。



8月以降のイベント・コンサート

いずれも未就学児はご入場いただけないコンサートです。

- 富貴亜里紗先生ソロリサイタル：11/16（金）@和光大学ポプリホール鶴川
- 姜愛玲先生：ヴァイオリン&ピアノコンサート：11/18（日）@紀尾井町サロンホール※横山ペテロ調律
- イェルク・デームス 4日間のフェスティバル：12/2（日）、3（月）、5（水）
@ピアノクリニックヨコヤマショールーム ※12/2、3、5、6全日 横山ペテロ調律
- イェルク・デームス90歳バースデーコンサート：12/6（木）@戸塚区さくらプラザホール



ちょこっとコラム ～巨匠指揮者の音楽を聴いてみよう～

指揮者が変われば、同じ曲でも音楽がガラリと変わることに気付いたら、皆さんはもう、クラシックの喜びを知る直前までできています！指揮者は、音楽全体への深い理解に基づいて、どう演奏すべきかを演奏者に伝え、一緒に音楽を創り上げます。聴く人をうっとりさせ、興奮させ、感動させる音楽を演奏者から引き出せる指揮者は、聴く人に大きな感動を与えます。その感動は、魂に直に触れるかのような強いもので、時にとてつもない力となって人々の心に様々な形で働きかけます。一度でもこの感動を知ると、必ずまた求めるようになります。これこそが、クラシックの喜びのはじまりです。この夏休み、動画サイトでも良いので、巨匠の演奏を聴いてみてください。まずは3人の巨匠指揮者をご紹介します。

■ヘルベルト・フォン・カラヤン(1908～1989年)



『帝王』の異名を持ち、音楽界のトップに立った、20世紀を代表する大指揮者。類まれなカリスマ性とリーダーシップ、さらに優れた自己演出力で、世界最高峰のオーケストラ、ソリストの演奏でおびただしい数の録音を残しました。どの録音も完成度の高さと評価が高く、名盤も数えきれないほどあります。中でもベルリンフィルハーモニー管弦楽団とのベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」は有名です。ときに目を閉じて指揮する姿にも惹きつけられます。

■レナード・バーンスタイン(1918～1990年)



生演奏でこそ真骨頂を発揮する、表情豊かで情熱的な指揮者。魂に訴える音楽を引き出します。作曲家としても有名で、ミュージカル『ウェストサイド物語』も世界中で愛されている作品のひとつ。ウィーンフィルハーモニー管弦楽団とのマーラー交響曲第9番(ベルリンでのライブ録音)など、名盤は数多くあります。自身もユダヤ人で、イスラエルフィルハーモニー管弦楽団との録音には思わず涙してしまう感動的な演奏がたくさんあります。

■カルロス・クライバー(1930～2004年)



世界的指揮者の父:エーリッヒ・クライバーの遺伝子を受継ぐ天才指揮者。舞い踊るような指揮姿でも知られています。気分次第で演奏会をキャンセル、録音も嫌い、肩書きにも無関心。レパートリーも極端に少なく公演回数も少ない。けれども彼の録音の多くは今も圧倒的な魅力で、不朽の銘盤として世界中のファンを魅了し続けています。ベートーヴェン交響曲第5番、7番、ブラームス交響曲第4番(ドイツ・グラモフォン出版)は名盤として有名です。